

## 小・中学校の不登校数が過去最多 34 万人 (2023 年度文部科学省調査)

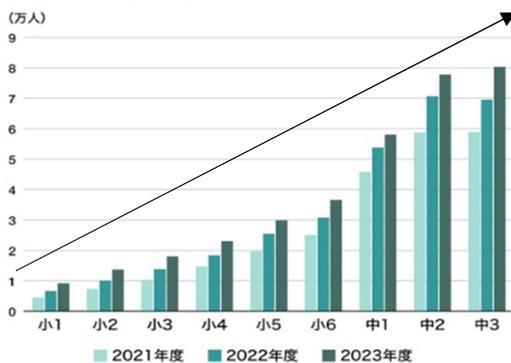
### 〈学校生活にやる気が出ない 32%〉

毎年のように「過去最多」を更新する、文科省による不登校調査結果を下記に掲載します。このデータによると増加は一目瞭然で、2021 年から 2023 年にかけて、どの学年も増加しています。増加の原因は積極的な認知によるものとされていますが、今回テレビ等で話題になっているのは下の表で、学校に行かない理由で最も多いのが「**学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった**」という項目です。

先日、最近学校を休みがちになった1年生男子の話の話を聞きました。母親によると彼は自分に自信がないタイプではなく、頑張ってチャレンジできる性格ということですが、この調査のように「やる気が出ない」ということを口にするということでした。

本人は『担任は自分ばかりに注意して、同じことをする女子には注意しない。』など担任との関係を強調していましたが、行かない理由を周囲のせいにしていても感じました。

学年別不登校児童生徒数



このように「やる気が出ない」が全面に出て、これまで普段通りの生活を送っていた子どもが、徐々に無気力化してくる時期には

- ・勉強ばかりで学校が面白くない。
- ・友達と喧嘩した。
- ・〇〇先生は怒るから好きじゃない。

などのように、他者に対する不満を持っていることが多いということです。

そして、無気力の前兆がある子どもは、この不満を周囲に訴えることはなく、「めんどくさい」「だるい」という表現をする傾向にあるようです。

また、自分から積極的に動かないものの、友達の誘いによって学校へ行けることもあるが、行きたくない理由を聞いてもはっきりしないことから、親にもなかなか理解されないケースが多いのが実情ということでした。

(4-7) 不登校児童生徒について把握した事実

			不登校児童生徒数	話しあいがあつた。	いじめ被害を排除する相談があつた。	いじめ被害を排除する相談があつた。	教職員との関係や相談があつた。	教職員との関係や相談があつた。	学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた。	学校のきまり等に関する相談があつた。	転入・進級時の不応による相談があつた。	家庭生活の変化に関する情報や相談があつた。	親子の関わり方に関する問題の相談があつた。	生活リズムの不調に関する相談があつた。	あそび、非行に関する情報や相談があつた。	学校生活にやる気が出ない等の相談があつた。	不安・抑うつ等の相談があつた。	障害(疑い)を認めない教育的支援の求めや相談があつた。	個別の配慮(障害)を認めない教育的支援の求めや相談があつた。
公立	小学校	(人)	129,410	2,264	14,795	5,643	18,988	2,589	4,249	12,025	21,920	31,666	2,977	41,730	29,284	11,381	10,979		
公立	小学校	(%)	***	1.7	11.4	4.4	14.7	2.0	3.3	9.3	16.9	24.5	2.3	32.2	22.6	8.8	8.5		
公立	中学校	(人)	207,013	1,967	29,870	4,365	31,735	4,059	9,216	12,317	19,847	44,795	8,527	67,207	48,387	12,246	11,341		
公立	中学校	(%)	***	1.0	14.4	2.1	15.3	2.0	4.5	5.9	9.6	21.6	4.1	32.5	23.4	5.9	5.5		
公立	小・中合計	(人)	336,423	4,231	44,665	10,008	50,723	6,648	13,465	24,342	41,767	76,461	11,504	108,937	77,671	23,627	22,320		
公立	小・中合計	(%)	***	1.3	13.3	3.0	15.1	2.0	4.0	7.2	12.4	22.7	3.4	32.4	23.1	7.0	6.6		

## こんなことがありました〈エピソード〉

夏休み前に「中3になり学校に行きにくくなった」という男子生徒のことで、父親から相談があり、会って話をしましたが原因が分かりません。そこで気分転換のために9月と11月に私は彼と釣りに行きました。

一回目は大物を釣り上げてドヤ顔（写真）で、二回目は何十匹も吊り上げる大漁でまたまたドヤ顔！！しかし、たったそれだけのことなのですが、釣りの後は二度とも学校に行けたということでした。



これは、海の持つ「波音」「匂い」「潮風」「水面の光」などが、彼にエネルギーを与えたからかも知れません。海の力は想像を超えるものがある気がしますので。

しかし、こういうケースはまれで、彼の心も理解できませんが、『たかが釣りでも自信が持てた』、『誰かが関わってくれた』ことが、学校へ行くきっかけになったのかも知れません。

そんなに単純な問題ではないとは承知していますが、無気力状態を「この子は甘えているだけ」「怠けている」と決めつけず、諦めずに適度な刺激も与えながら、寄り添い続けることが大人のやるべきことだと感じた出来事でした。

## 白ポスト回収状況(11月末まで)

市内3ヶ所に白ポストを設置して、有害図書の回収を年に4回行っています。下の表は3回までの合計です。ネット社会の影響か、ご覧のとおり回収数は減少しています。

今年の流行語大賞に選ばれた「ふてほど」が気に入り、ネットフリックスで、第1回を視聴したところ「ビデオカセット」が出てきました。我が家でもダンボール箱にたくさん眠っていますが、すでに過去の遺物になっていることが結果にも出ています。

また、この度は傷みが激しくなっていた白ポストの補修も行いました。

		前年対比	本	DVD	ビデオ	合計
前年度との対比	鴨方町	令和6年度	19	20	0	39
		令和5年度	46	17	0	63
		増減数	-27	3	0	-24
		増減率	-58.7	17.6	***	-38.1
	金光町	令和6年度	21	2	0	23
		令和5年度	42	9	0	51
		増減数	-21	-7	0	-28
		増減率	-50.0	-77.8	***	-54.9
	寄島町	令和6年度	4	0	0	4
		令和5年度	0	0	0	0
		増減数	4	0	0	4
		増減率	***	***	***	***
浅口市	令和6年度	44	22	0	66	
	令和5年度	88	26	0	114	
	増減数	-44	-4	0	-48	
	増減率	-50.0	-15.4	***	-42.1	



寄島町の白ポストの  
ビフォー&アフター

塗装作業風景



**まもなく令和6年が終わります。お疲れ様でした！**

**来年がみなさまにとって良い年になりますようにお祈りいたします😊**